

茨城県立牛久栄進高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

- (1) 変化の激しい社会環境に柔軟に対応しつつ、多様性を尊重し、新しい価値を創造するのに必要な自主自律の態度と豊かな人間性を身に付けた創造性豊かな人材を育てる。
- (2) 上記の目的達成のため以下の、目標を設定した。
- ・自ら問いをたて、課題をみつけ、様々な人と協働して解決を目指す人材を育てる。
 - ・単位制高校として多様な科目選択を可能にし、主体的に工夫や改善をしながら知識や技能を修得し、その過程で培われる見方・考え方を働かせて適切に対応できる力を育成する。
 - ・自分の興味・関心を追究し、学校内外での様々な活動に積極的に参加し、目標を設定し、その達成のために学び続けるとともに、それを社会に役立てようとする姿勢を育てる。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>(1) 他者の役に立とうとし、そのために自ら考え、行動することができる生徒。</p> <p>(2) 何を学ぶべきか判断し、知的好奇心を持って、主体的に学習することができる生徒。</p> <p>(3) 豊かな人間性を持ち、円滑で創造的な人間関係を築くことができる生徒。</p>	<p>(1) 課題の設定や論の進め方、資料の使い方などの適切さ<知技></p> <p>(2) アンケートやインタビューなど外部連携を含めた他者との協働のあり方<思判表></p> <p>(3) 探究活動への取り組み意欲や姿勢<態度></p>	<p>(1) 個に応じた指導体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全体での生徒サポート ・教科横断的な指導体制の構築 <p>(2) 思考の深化を促すワークシートの工夫</p> <p>(3) 班内の生徒による支援（協業）</p> <p>(4) ICT 活用による作業や発表の工夫</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	「防災」「地域振興」「多様性」など、地域課題に根ざした9つのカテゴリーから生徒が自ら問いを設定する。情報収集、整理・分析、まとめ・表現のプロセスを個人またはグループで実践し、課題解決に必要な探究スキルを体系的に習得する。	設定した課題に応じ、地域振興に関する研究者や JICA 筑波等の専門機関、地元自治体、NPO 等と連携を図る。外部講師による講話や施設訪問を通じ、実社会の知見を取り入れた多角的な視点を養う。	実社会や実生活の中から自ら問いを見出し、多様な他者と協働しながら、粘り強く最適解を導き出そうとする態度を持つ生徒。
2年	「防災」「地域振興」「多様性」など、地域課題に根ざした9つのカテゴリーから生徒が自ら問いを設定する。情報収集、整理・分析、まとめ・表現のプロセスを個人またはグループで実践することで、社会の複雑な課題に対峙するための思考力と実践力を身に付ける。	設定した課題に応じ、地域振興に関する研究者や JICA 筑波等の専門機関、地元自治体、NPO 等と連携を図る。講師による講話や施設訪問、外部団体との協働から、実社会の知見を取り入れた多角的な視点と行動力を養う。	地域や社会の現場に積極的に足を踏み入れ、多様な他者との協働を通じて、自らの仮説を粘り強く検証・実行しようとする行動力を持つ生徒。
3年	自らの進路実現に向けた進路探究を主とする。具体的には、将来携わりたい仕事や大学・大学院で学びたい内容を調査、深化する。また、2年次に実施した探究を元に、学校間の授業交流を通して内容をより深め充実させる。	インターナショナルスクールとの授業交流によって、国際的な視点の獲得や多様性の尊重に向けた態度を養う。	自らの興味関心を深掘りし、進路実現に向けて他者と協働しながら切磋琢磨できる生徒。